

表2 平成19年9月30日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	6,327	617	6,944	908	1,263	2,171	7,235	1,880	9,115
	異性間の性的接触	1,619	501	2,120	307	730	1,037	1,926	1,231	3,157
	同性間の性的接触 <sup>*1</sup>	3,976	2	3,978	255	0	255	4,231	2	4,233
	静注薬物濫用	20	1	21	20	2	22	40	3	43
	母子感染	13	8	21	4	7	11	17	15	32
	その他 <sup>*2</sup>	118	31	149	29	19	48	147	50	197
	不明	581	74	655	293	505	798	874	579	1,453
AIDS患者	合計 <sup>*3</sup>	3,175	232	3,407	641	307	948	3,816	539	4,355
	異性間の性的接触	1,275	150	1,425	222	164	386	1,497	314	1,811
	同性間の性的接触 <sup>*1</sup>	1,164	1	1,165	94	2	96	1,258	3	1,261
	静注薬物濫用	12	2	14	19	0	19	31	2	33
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 <sup>*2</sup>	80	16	96	19	9	28	99	25	124
	不明	635	60	695	286	128	414	921	188	1,109
凝固因子製剤による感染者 <sup>*4</sup>		1,420	18	1,438	-	-	-	1,420	18	1,438

\*1 両性間性的接触を含む。

\*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

\*3 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

\*4 「血液凝固異常症全国調査」による2006年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

#### 死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成19年3月31日)	228名
エイズ予防法 <sup>*5</sup> に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 <sup>*6</sup>	606名

\*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

\*6 「血液凝固異常症全国調査」による2006年5月31日現在の報告数